

第3回 日本少年野球 ツボイスポーツ杯争奪大会



 (公財)日本少年野球連盟

期 間

小学生の部:令和3年9月26日(日) 予備:未定
中学生の部:令和3年9月4日(土)・5日(日)・11日(土)
予備:9月12日(日)

会 場

小学生の部:稲沢中央ボーイズ専用グラウンド
中学生の部:豊田総合運動公園野球場/阿久比球場
熱田神宮公園野球場/輪之内アポロン球場
中京ボーイズ専用グラウンド

主 協 催 賛

(公財)日本少年野球連盟愛知県中央支部
ツボイスポーツ
株式会社 エスエスケイ
ゼット株式会社
愛知銀行
株式会社 BSO

後 援

(公財)日本少年野球連盟



公益財団法人 日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

愛知県中央支部

野 球 を し な が ら
団 結 ・ 友 愛 ・ 規 律 ・ 勇 気 ・ 忍 耐
を 身 に つ け よ う

(公財) 日本少年野球連盟規約 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣 田 敏 和

[本部] 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階

TEL (06) 6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

第3回日本少年野球ツボイスポーツ杯争奪大会役員名簿

《大会会長》

愛知県中央支部支部長 田 畑 良 一

《大会副会長》

ツボイスポーツ
代表取締役 坪 井 大 輔

愛知県中央支部支部長代行 山 口 護

《大会運営委員長》

中央支部企画運営部長 東 亜 行

《大会運営副委員長》

中央支部行事委員長 松 尾 勝

中央支部行事副委員長 三 河 一 輝

中央支部企画運営副部長 多 和 田 健 次

《大会運営委員》

愛知安城ボーイズ代表 西 脇 利 幸

愛知セントレアガールズ代表 阿 部 充 則

愛知知多ボーイズ代表 濱 野 晃 一

愛知知立ボーイズ代表 土 屋 尚 史

愛知東郷ボーイズ代表 黒 沢 淳

愛知名港ボーイズ代表 友 田 淳 雄

愛知港ボーイズ代表 小 河 徳 和

中京ボーイズ代表 森 義 弘

名古屋ボーイズ代表 田 中 秀 明

名古屋中央ボーイズ代表 樋 田 善 光

名古屋緑ボーイズ代表 坂 野 晃 嗣

東名古屋ボーイズ代表 千 田 知 弘

三好東郷ボーイズ代表 鳥 居 剛

《大会顧問》

日本少年野球連盟会長 惣 田 敏 和

日本少年野球連盟副会長 堀 内 健

日本少年野球連盟
中日本ブロック長 松 本 行 弘

日本少年野球連盟担当理事 伊 藤 裕 章

《大会参与》

愛知県中央支部相談役 深 谷 博 之

《大会総務部長》

愛知県中央支部総務部長 松 尾 勝

《大会事務局長》

愛知県中央支部事務局長 三 河 一 輝

《大会副事務局長》

愛知県中央支部副事務局長 石 川 博 章

《大会広報委員長》

愛知県中央支部広報委員長 石 川 博 章

《大会会計部長》

愛知県中央支部会計部長 加 藤 剛 司

《大会会計副部長》

愛知県中央支部会計副部長 鈴 木 直 実

《大会審査指導部長》

愛知県中央支部審査指導部長 丸 山 晋 弘

《大会審査指導副部長》

愛知県中央支部審査指導副部長 一

《大会審判長》

愛知県中央支部審判長 鶴 見 淳

《大会副審判長》

愛知県中央支部副審判長 高 岡 晋

北 山 肇

中 野 英 志

《大会審判員》

支部審判員諸氏

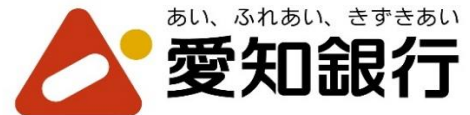
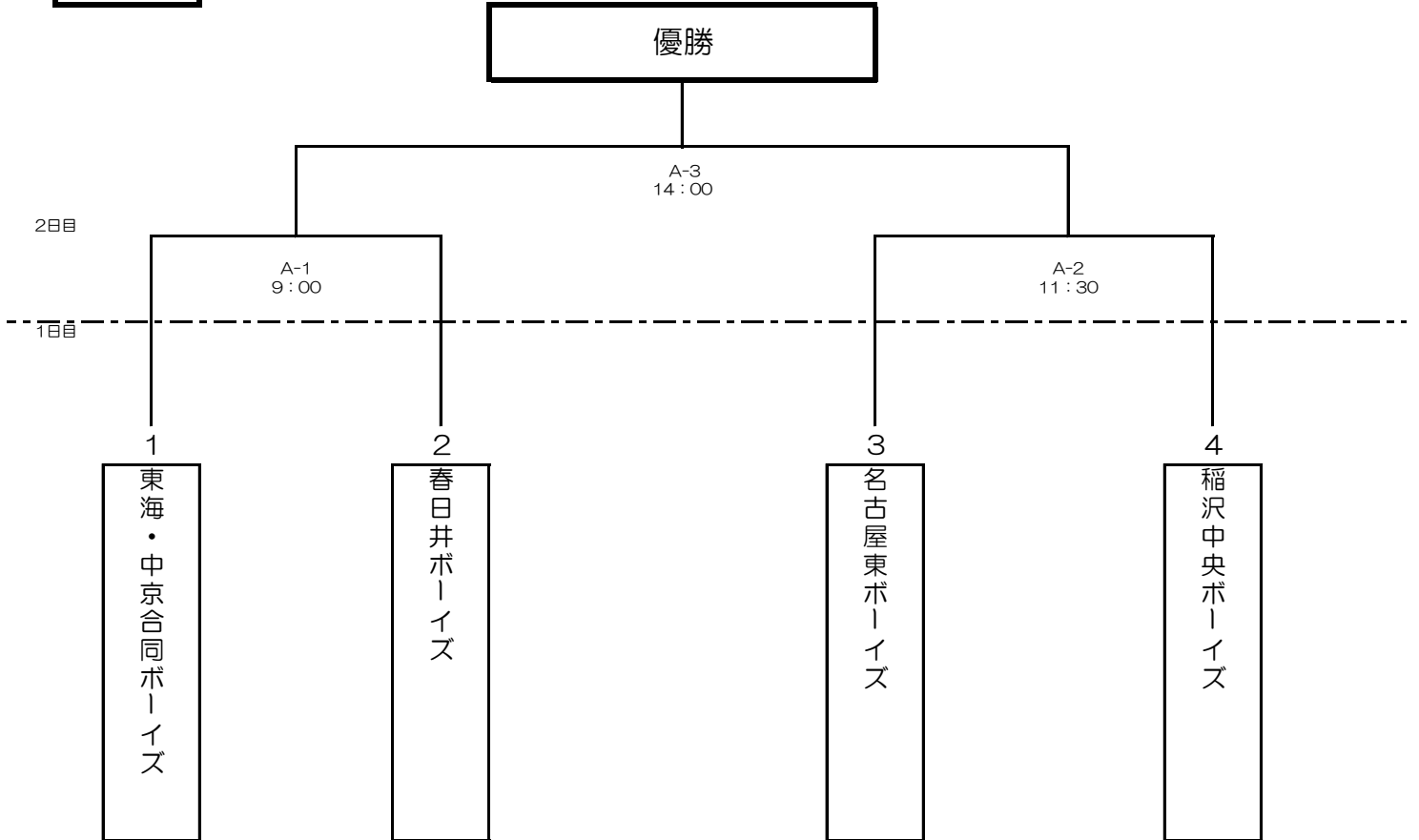
第3回日本少年野球ツボイススポーツ杯争奪大会

1日目 2021年9月26日(日) A 球場 稲沢中央ボーイズ専用グラウンド 東海・中京ボーイズ

予備日 未定 B 球場 #N/A 東海・中京ボーイズ

小学生の部

前回優勝チーム：稲沢中央ボーイズ

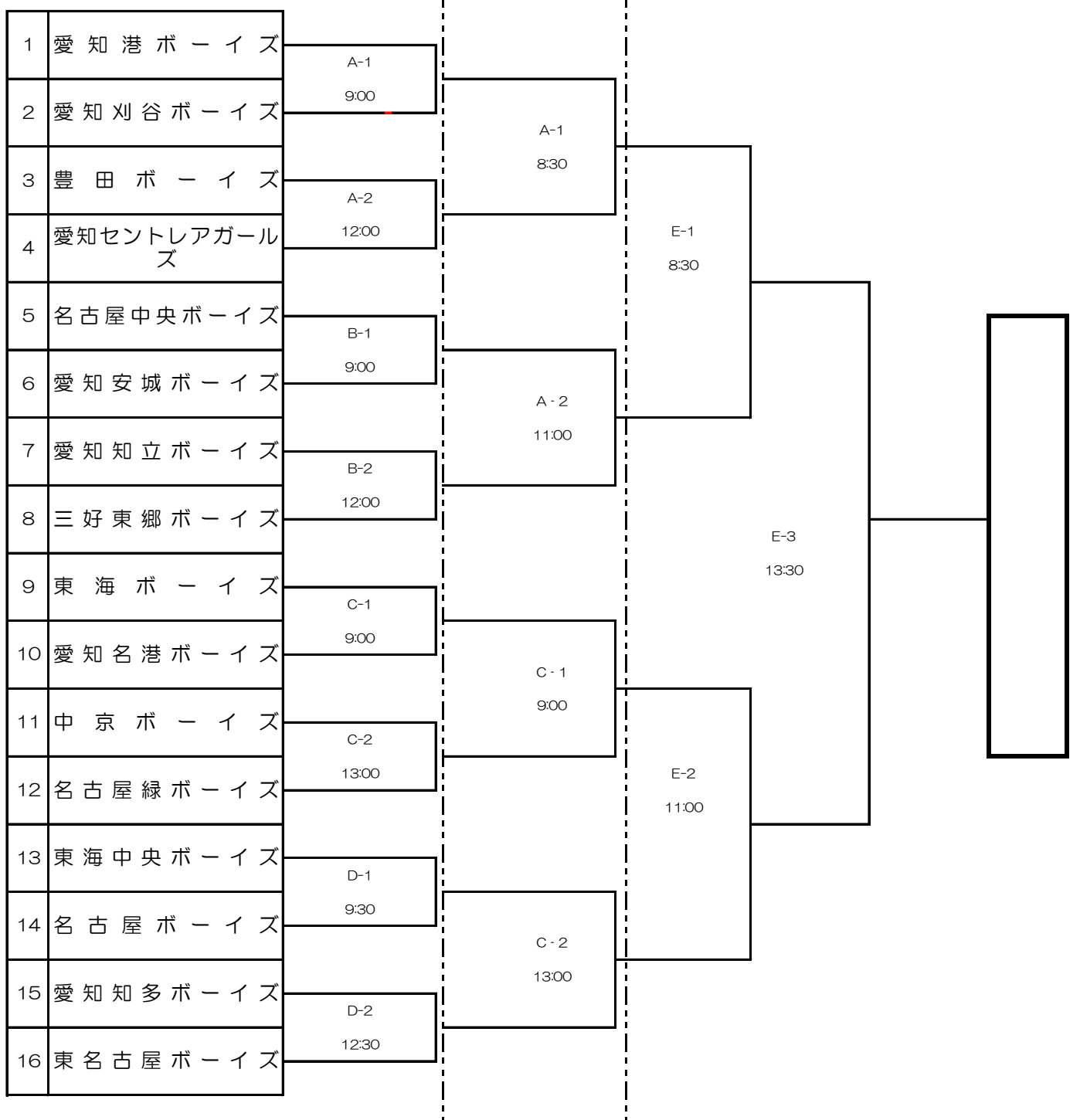


第 3 回 ツ ボ イ ス ポ ー ツ 杯 争 奪 大 会

		本部	【グラウンド担当】
1 日目	2021年9月4日(土)	A 球場 ◎ 豊田総合運動公園野球場 B 球場 熱田神宮公園野球場 C 球場 中京ボーイズ専用グラウンド D 球場 岡崎龍北総合運動場	豊田ボーイズ 愛知知立ボーイズ 中京ボーイズ 愛知知多ボーイズ
2 日目	2021年9月5日(日)	A 球場 ◎ 豊田総合運動公園野球場 C 球場 中京ボーイズ専用グラウンド	豊田ボーイズ 中京ボーイズ
3 日目	2021年9月11日(土)	E 球場 ◎ 未定	グラウンド担当チーム合同
予 備 日	2021年9月12日(日)	F 球場 未定	

中学生の部

1日目 2日目 3日目



大会規定

- 1・1チームの登録選手は中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。
また、小学生の部は11名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・登録選手および登録されたチーム責任者(代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者)、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)及び審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。
また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
- 5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
- 6・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 7・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 8・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
- 10・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 11・試合方法など
 - ・中学生の部
 - (1)各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
 - (2)4回終了時(後攻のチームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
 - ・小学生の部
 - (1)各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えた場合、新しいイニングに入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
 - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 12・(1)投手は、中学部は投球数制限を採用する。
※詳細は別紙投球数制限資料参照。
また移行期間のため、資料に掲載されていない事象が発生した場合は、支部内にて判断とする。
小学部は投球回数を採用。
 - (2)小学生の部投手は、1日6イニング以内、連続する2日間で8イニング以内とする。
 - (3)ダブルヘッダーでの連投を認めるが、投球回数を小学生の部は6イニング以内とする。
 - (4)例えば、1試合目で5回投げた場合には、次の試合で小学生の部は1回投げる事ができる。
ただし端数回数(0/3回・1/3回・2/3回)は切り上げて1回とする。端数回数の0/3回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。なお、小学生の部は変化球を禁止する。

- 13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 14・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
- 15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 16・監督またはコーチが投手に指示などをするときには、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 17・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 20・小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 21・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 22・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 23・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 24・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 25・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 26・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 27・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
 - (ニ) この場合の代打および走者は認められる。
- 28・守備側チームの監督が故意四球とする意思を球審に示して、打者が一塁を与えられたときには、故意四球が記録される。

【 AED（自動体外式除細動器）所持の確認 】

・選手審査時にチームはAEDを所持しているか確認すること。

注意）AEDには有効期限があります。AED所持チームは、その有効期限に留意して常に作動できる状態にあるか確認して下さい。

【 熱中症対策特別規定 】

- （1） 球場責任者の判断により、（2回・4回・6回裏終了時）5分間のインターバルを設ける
- （2） 上記のインターバルを設けた場合は試合時間にカウントしない

大会開催運営に関するガイドライン（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。

尚 大会運営役員、審判、参加チームスタッフ、選手、保護者の全ての者に於いて 当日の検温（37.5 度以下）並び体調に異常が無いか確認をし 各自出来る限り 2m以上の距離を取り マスクを着用し 密集しないようにする。

1. 大会開会式、閉会式を禁止とする。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。

2. (1) 大会運営方法

・運営（球場）責任者、及び運営役員 3名

放送 1~2名 記録 1名 グランド整備等運営補助者 5名程度

室内本部は必要最低限の者とし、屋外（スタンド）とする。

・試合間隔は試合時間含め 3時間を取り 密にならないよう運営する。

・試合ベンチはグラウンド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い 密度が高くなるように設営する。

・チーム到着時、帰途時の挨拶は「無し」とし メンバー表等の提出のみとする。

・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし 代表のみが立ち会う。

また試合前のメンバー表交換の集合は 球場責任者、審判、監督、主将で行う。

・接待は「無し」とし 飲料（個別ペットボトル）、弁当等は 1ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。

・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。

・試合会場入りは 1時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。

*大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。

(2) 試合に関して

・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。

・指示、掛け声は飛沫が飛ばないように大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする

・試合開始、終了の挨拶は声を出さず 礼のみで行う。

・捕手は防具を自ら着用し 補助者を使わない。

・審判はマスク着用し 判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。

*マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為 時間を取るなど配慮が必要です。

(3) 参加チームについて

・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20 (25) 名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて 2m以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。

・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。

・昼食を取る場合 対面にならないよう 2m以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。

・大会会場へは 1時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。

・選手移動については全ての車両に於いて こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。

・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。

*大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。以上が大会のガイドラインであります。感染のリスクがゼロではありません。

各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。

尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

【 投球数制限について 】

- ・ 2021年度は周知期間とする
- ・ 2022年度よりすべての構成団体において完全適用とする

1. 中学生（レギュラーの部）

1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したこととする
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ③ 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
3連投させたい場合の1日目及び2日目（ダブルヘッダーの場合は1試合目）の40球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする
- ⑨ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮すること

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日70球以内、週350球以内とする
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	第1日目80球、第2日目40球で連続する2日間で120球となったため、第3日目は 投手・捕手として出場できない。(また、2日間で80球を超えているので第3日目は 捕手して出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板 した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目が休みだったので、第5日目80球、第6日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	第1日目、第2日目で80球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目、第5日目で連続する2日間で80球を超えているため、第6日目の3日間 連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	第1日目、第2日目で40球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手と して出場できない。第4日目は80球のため第5日目は投球した時点から1試合目に 登板してなくても連続する2日間で80球を超えているため、第6日目は投手・捕手 として出場できない。
投手F	30 50	休 * 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投 できないが、*連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目 は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

2. 中学生（ジュニアの部）

1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大70球とし連続する2日間で105球以内とする
連続する2日間で70球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を35球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したこととする
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ③ 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
3連投させたい場合の1日目及び2日目（ダブルヘッダーの場合は1試合目）の35球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で70球を超えた投手、並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日70球以内、週350球以内とする
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手 A	70	0	70	0	70	0	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 (打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球)
投手 B	70	35	休	70	0	70	第1日目70球、第2日目35球で連続する2日間で105球となったため、第3日目は 投手・捕手として出場できない。(また、2日間で70球を超えているので第3日目は 捕手として出場できない規定もある。投手 D 参照)
投手 C	35	35	30	休	70	35	3日間連続35球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板 した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目が休みだったので、第5日目70球、第6日目35球の投球は可能。
投手 D	35	40	休	30	50	休	第1日目、第2日目で70球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目、第5日目で連続する2日間で70球を超えているため、第6日目の3日間 連続登板および捕手として出場できない。
投手 E	35	35 35	休	70	0 35	休	第1日目、第2日目で35球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手と して出場できない。第4日目は70球のため第5日目は投球した時点から1試合目に 登板してなくても連続する2日間で70球を超えているため、第6日目は投手・捕手 として出場できない。
投手 F	30 40	休 * 捕 手 可	35 35	35	休	70	ダブルヘッダーで70球以内であっても、どちらかの試合で35球を超えた場合は、3連投 できないが、*連続した2日間で70球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は35球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目 は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

3. 小学生（レギュラーの部）

1) レギュラーの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大65球とし連続する2日間で105球以内とする
連続する2日間で65球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの投球を禁止する
- ③ 大会中は1日65球以内とし、翌日投球を休めば3日目は65球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
3連投させたい場合の1日目及び2日目の40球以上はカウントされる
- ⑤ 小学部においては投手から捕手の制限は設けない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする
- ⑨ レギュラーの部の大会において5年生（4年生）が投球した場合でもレギュラーの部の投球制限とするが、指導者は十分考慮すること

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日50球以内、2日間で90球以内とする
また2日間投球した場合、3日目は投球してはならない

「小学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手A	65	0	65	0	65	0	65球投げた翌日には登板していないため、翌々日には65球投球できる。 (打者終了時に65球を超えても、1試合分の最大カウント数は65球)
投手B	65	40	休	65	0	65	第1日目65球、第2日目40球で連続する2日間で105球となったため、 第3日目は登板できない。
投手C	40	25	40	休	65	40	40球以内で連続する2日間で65球以内であれば3日間連続登板可能。 ただし、球数に関わらず3日間連続登板した場合は、第4日目は登板できない。 第4日目が休みだったので、第5日目65球、第6日目40球の投球可能。
投手D	40	30	休	15	50	休	第1日目、第2日目で65球を超えたため、第3日目は登板できない。 第4日目、第5日目は65球以内だが、第5日目で40球を超えているため、第6日目の3日間連続登板はできない。
投手E	65 休	40	休	休 40	65	休	小学生の部は、ダブルヘッダーの場合、どちらかの試合しか登板できない。 登板した翌日は105球まで投球可能。翌々日は登板できない。
投手F	65	40 休	休	40	25 休	40	第1日目65球、第2日目1試合目は40球までで、第2日目2試合目と第3日目は 登板できない。 第4日目と第5日目1試合目で65球以内であれば、第5日目2試合目は登板 できないが、第6日目は40球までは投球できる。

※数字は投球数。「休」は投手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

4. 小学生（ジュニアの部）

1) ジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大60球とし連続する2日間で100球以内とする
連続する2日間で60球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を30球以内とし、
4連投（連続する4日間）は禁止とする
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない
ダブルヘッダーの投球を禁止する
- ③ 大会中は1日60球以内とし、翌日投球を休めば3日目は60球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、
当該打者の打席終了までは投球を認める
投球数を超過した球数は翌日以降に投球数にカウントしない
- ⑤ 小学部においては投手から捕手の制限は設けない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日50球以内、翌日は投球してはならない

「小学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手A	60	0	60	0	60	0	60球投げた翌日には登板していないため、翌々日には60球投球できる。 (打者終了時に60球を超えても、1試合分の最大カウント数は60球)
投手B	60	40	休	60	0	60	第1日目60球、第2日目40球で連続する2日間で100球となったため、 第3日目は登板できない。
投手C	30	30	30	休	60	40	30球以内で連続する2日間で60球以内であれば3日間連続登板可能。 ただし、球数に関わらず3日間連続登板した場合は、第4日目は登板できない。 第4日目が休みだったので、第5日目60球、第6日目40球の投球可能。
投手D	30	35	休	20	40	休	第1日目、第2日目で60球を超えたため、第3日目は登板できない。 第4日目、第5日目は60球以内だが、第5日目で30球を超えているため、第6日目の3日間連続登板はできない。
投手E	60 休	40	休	休 40	60	休	小学生の部は、ダブルヘッダーの場合、どちらかの試合しか登板できない。 登板した翌日は100球まで投球可能。翌々日は登板できない。
投手F	60	40 休	休	30	30 休	30	第1日目60球、第2日目1試合目は40球までで、第2日目2試合目と第3日目は 登板できない。 第4日目と第5日目1試合目の各試合で30球以内であれば、第5日目2試合目は 登板できないが、第6日目は30球までは投球できる。

※数字は投球数。「休」は投手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

5. 愛知県中央支部の取組み事項

【運営方法】

- ・投球カウンターを使用
- ・審判は基本的にカウントしない
- ・本部席にて役員が両投手の投球数をカウント
- ・インニング終了後に球数を確認、場内アナウンス
- ・投手が80球に達した時に場内アナウンス

	1	2	3	4	5
Aボーイズ	⑫	⑨			
Bボーイズ	⑩	⑦			

例) Aボーイズ〇〇投手、2回の表の投球数は9球、トータル21球です。(2回表終了後にアナウンス)

Bボーイズ〇〇投手、2回の裏の投球数は7球、トータル17球です。(2回裏終了後にアナウンス)

Aボーイズ〇〇投手、投球数が80球になりました。

東海・中京合同ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	加藤剛司 志賀裕一 松村健光 藤田和光	
背番号	氏名	学年
主将 21	藤田 崇矢	6年
0	中島 駿龍	4年
1	中島 龍之介	6年
5	安藤 駿汰	2年
8	榊原 竣平	5年
9	松井 廉	1年
10	片田 千数	3年
11	片田 晶凡	5年
24	松井 慶	4年
25	佐藤 優	2年
26	今井 柏太	4年
31	福田 大虎	5年
44	田中 ランディ	1年
2	松村 堅守	6年
17	河口 虎太郎	5年
22	山本 恭太郎	4年
55	三浦 陽遊	6年

岐阜ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	山本一利 尾関大輔 浜田岳志 佐藤洋平	
背番号	氏名	学年
主将 6	桐谷 奏佑	6年
1	伊藤 波琉	6年
2	楓 岳琉	4年
3	佐藤 蒼真	5年
4	武藤 彪俄	5年
5	後藤 蓮旺	3年
7	吉田 楓菜	4年
8	眞野 悠己	6年
9	木下 立稀	6年
10	森 達志	3年
11	大脇 隼人	6年
13	吉松 流	6年
16	大塚 太陽	6年

春日井ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	山下泰和 縄田秀樹 松原知輝 吉川幸弘	
背番号	氏名	学年
主将 8	吉川 颯汰	6年
1	青山 獅王	6年
5	安田 瑛太	6年
6	糸魚 川輝	6年
7	磯金 海里	6年
9	竹内 進太	6年
10	纈纈 星夢	5年
12	休石 隼翔	4年
13	吉川 拳矢	4年
14	澤野 晴	4年
15	山本 朔	4年
16	池端 瞳真	3年
17	橋本 陣之右	3年
18	三宅 昂	2年

名古屋東ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	中村直人 長尾文博 辻啓人 佐々木敦司	
背番号	氏名	学年
主将 25	兒玉 阿久里	6年
1	岡本 陵汰	5年
2	木村 拓海	6年
3	藤井 隆貴	4年
6	水野 葵斗	5年
7	中川 雄斗	5年
8	松田 光輝	5年
11	清水 謙心	4年
14	上原 彰悟	6年
16	加畑 圭亮	6年
18	上田 陸人	4年
51	関戸 遙馬	5年

稲沢中央ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	林 長 伊 石	尾 藤 田	透 実 博 靖	
背番号	氏名			学年
主将	6	平野光樹		6年
	0	杉山璃空		6年
	1	和手陵恭		6年
	2	前田泰志		5年
	3	加藤翔遵		5年
	5	高橋旺士		5年
	7	和手脩朗		4年
	8	浅野流輝		6年
	10	富倉颯大		6年
	11	浅野翔星		4年
	12	蔭山律輝		6年
	14	木全礼恩		6年
	16	旅田大輝		5年
	17	平野登有		6年
	21	松浦大悟		6年
	23	狭間幹矢		5年
	25	宮野瑛心		5年
	49	宇佐美一篤		6年

愛知港ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	小河徳和 堀田将司 大須賀辰郎 朝夷名剛	
背番号	氏名	学年
主将 26	金本誠史	2年
0	清水彪雅	2年
1	山本夢大	2年
5	関之尾悠太	1年
11	大須賀琉季	1年
14	山賀祐樹	2年
15	水野歆汰	2年
16	西岡依丸	2年
18	伊藤璃空	2年
19	平田庸之助	2年
21	中井柊温	2年
23	中早川諒	2年
24	早池田堂来	2年
25	平田琉太郎	2年
27	平谷口大和	2年
28	谷武智大遥	2年
29	武朝夷名敏	2年
31	佐藤藤響	2年
56	早坂玲音	2年
63	小椋秀悝	2年

愛知刈谷ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	鈴木直実 西川浩司 村瀬雅士 神恵雅彦	
背番号	氏名	学年
主将 38	成田悠生	2年
30	猪塚 椋	2年
31	高木 双葉	2年
32	斉藤 暖	2年
33	前原 一温	2年
34	東條 匠真	2年
35	木村 瑛汰	2年
36	井上 翔太郎	2年
37	青木 涼也	2年
39	徳永 詠介	2年
40	内田 涼太	2年
41	小川 竜駕	2年
43	福田 悠斗	2年
44	北原 将吾	2年
45	水谷 寛太	2年
46	蟹江 大雅	2年
47	稲吉 悠羽	2年
48	森 大輔	2年
51	岡田 麗翔	2年
52	杉本 菫太郎	2年
53	久保 慧心	2年
54	長坂 栞智	2年
55	青木 駿乃介	2年
56	本間 大胡郎	2年
57	稲吉 透羽	2年

豊田ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	多和田健次 釜田尚毅 鈴木木村陽祐 野村寿道	
背番号	氏名	学年
主将 25	勝田悠斗	2年
0	村田久遠	2年
1	高洲凌央	2年
3	長屋快青	1年
4	加藤 絢己	1年
5	加紺野凌也	2年
6	池田有我	1年
7	辻竜之介	1年
8	大山愛斗	1年
10	大清田凌平	2年
12	正垣 馨一	2年
13	野村 應太	2年
15	鈴木胡太朗	2年
16	杉浦 颯真	2年
19	杉加藤 翔亜	2年
20	上田 陽生	1年
22	内山 元晴	2年
23	内木 曾耀太	1年
26	横松 澤琢巳	2年
27	松嶋 哉汰	2年
28	白柿 武琉	1年
34	吉弘 泰成	1年
37	山河 田凱斗	1年
51	河野 陽太	1年
99	今井 大斗	2年

愛知セントレアガールズ

代表監督 コーチ マネージャー	阿部充則 小島康弘 黒石英二	
背番号	氏名	学年
主将 1	片沙南	3年
3	杉浦陽乃	3年
4	大西結菜	3年
6	山本萌	3年
7	石井 夢愛	3年
8	片紅葉	2年
10	春田桃歌	2年
11	小野田光莉	2年
12	鈴木 心優	1年
17	椎名 華	3年
18	都築 麻綾	1年
27	黒石 菜子	2年
36	米倉 実夢	2年
44	藤井 陽菜子	2年

名古屋中央ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	樋田善光 角将人 木下篤史 梅田朋幸	
背番号	氏名	学年
主将 89	朴慶太	2年
24	久永聖光	2年
26	多賀大和	2年
32	神農大雄	2年
36	加世田煌	2年
37	宮崎海斗	2年
42	木下遥琉	2年
44	木奥村凌太	2年
52	奥吉田泉希	2年
53	吉伊藤貴信	2年
58	伊木庭夏輝	2年
61	木本大翔	2年
63	本大鐘希	2年
66	大宮本和	2年
70	中梅本川亮	2年
77	中梅田壮	2年
99	梅田亜里傑	2年

愛知安城ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	西脇利幸 西脇侑正 西橋川本匡 西橋史	
背番号	氏名	学年
主将 6	中山達椰	2年
2	中外山成竜	2年
4	石川稜馬	2年
7	千川葉心	2年
8	小野里葵	1年
10	鈴木夢人	2年
12	由良蒼葉	1年
13	柴田侑篤	1年
15	石川凜明	1年
18	鈴木木煌人	2年
22	土谷斗	2年
23	中井口乎	2年
24	出出達智也	2年
29	出出智也	1年
32	三丸慶太郎	2年
33	椎野弘基	2年
46	鍋内比呂	2年
51	鍋竹新	1年

愛知知立ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	土屋尚史 西川弘樹 近藤秀和	
背番号	氏名	学年
主将 11	近藤慎之介	2年
0	長谷俵斗	2年
1	山口桜舞	1年
2	神谷樹	2年
3	外山雅和	2年
4	前田明德	2年
5	加藤心汰	1年
6	加藤大雅	1年
7	加藤都恭	2年
8	小川竜也	1年
9	小岡本爽汰	2年
10	稻垣光晟	2年
14	小池隆貴	1年
15	小鈴木貴蓮	2年
16	宮本絆生	2年
18	椿幸之助	2年
33	山内瑛太	2年
36	山林田拓己	2年
55	林杉丈虎	2年
66	杉正木遥	2年
90	熊野陽太	2年

三好東郷ボーイズ

代表 監督 コーチ マネージャー	鳥居剛 安達豪也 伊藤貴生	
背番号	氏名	学年
主将 16	大嶋元晴	2年
6	村田涼	2年
8	鈴木海人	2年
10	永田翔斗	2年
11	谷川源之助	2年
12	石川天琉	2年
14	仲野聖凜	2年
15	金子瑛士	2年
19	手島大翔	1年
20	永田瑛斗	1年
21	片岡蒼太	2年
25	篠村勇輝	2年
31	塚田大次朗	1年
33	岩田朔弥	2年
41	太田光洋	1年
55	近藤宏志	1年
56	高島倅	2年
83	佐野和暉	2年
94	斉藤朋佑	2年

東海ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	丸山晋弘 中山野邦英 岡崎本政幸	
背番号	氏名	学年
主将	2 岡本 力哉	2年
	1 川瀬 陽翔	2年
	3 浦川 翔夢	1年
	5 武田 義弘	2年
	7 山崎 翔太	2年
	8 水野 創太	2年
	10 長谷川 彪河	1年
	11 長淵上 麗音	2年
	21 吉川 斗雅	1年
	22 高門 侑馬	1年
	23 犬飼 亮凱	1年
	27 犬浦 野也	1年
	31 渡辺 一誓	1年
	41 渡石 本侃	1年
	47 杉山 本由	2年
	63 濱本 凛太郎	1年
	88 大林 青葉	1年
	89 山本 虎太	1年
	99 深谷 一翔	1年

愛知名港ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	友田淳雄 奥村尚 杉本貴由 奥村治	
背番号	氏名	学年
主将	44 川尻 結大	2年
	0 山内 康大	1年
	1 山内 康生	2年
	2 野上 康士	2年
	4 八田 柊司	2年
	6 前田 蓮丸	2年
	7 宇井 漣	2年
	11 北村 理汰	2年
	14 澤田 汰龍	2年
	18 畠下 龍季	2年
	21 森下 都龍	2年
	24 杉本 龍之介	2年
	25 山森 楓優	2年
	31 木村 優銀	2年
	33 中村 龍仁	2年
	34 高橋 龍世	2年
	35 小川 隼之介	2年
	45 後藤 駿平	1年
	51 川島 啓瑚	2年
	55 柳本 怜大	2年
	56 佐宮 匠	2年
	57 宮本 拓	2年
	63 鈴木 大	2年
	81 岡長 海	1年

中京ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	森福義弘 大長博幸 袴矢田康弘彦	
背番号	氏名	学年
主将	12 星野 匡慶	2年
	1 富田 悠月	2年
	3 古川 快人	2年
	6 平原 矢真	2年
	8 東 祐太	1年
	13 池田 怜央	2年
	14 山田 雄治	2年
	16 川口 賢人	2年
	17 伊藤 智弘	2年
	19 伊藤 一樹	2年
	21 中山 陽夏	1年
	23 中山 本翔	2年
	25 村田 滯太	2年
	27 野田 凜	2年
	30 加藤 竜稀	2年
	37 不破 竜凱	2年
	54 不桂 晃紫	1年
	86 中村 晴琉	2年
	87 中村 楓花	2年
	95 伊藤 稜示	1年

名古屋緑ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	坂野晃嗣 内藤清貴 亀山秀一 伊波秀一	
背番号	氏名	学年
主将	54 松田 昂士	2年
	0 山田 善斗	1年
	1 清水 水聡	2年
	2 斉藤 圭	2年
	3 安藤 誠	2年
	5 間野 舜平	2年
	8 塚崎 亮羽	2年
	14 今野 真大	2年
	16 池村 一星	2年
	17 澤田 悠利	2年
	19 井上 雄太	1年
	20 百合 草脩	2年
	22 櫻井 倅太郎	2年
	28 相川 幸樹	2年
	32 吉川 勝弥	2年
	45 河野 蒼次	2年
	46 渡邊 颯真	2年
	51 橘圭 冠祐	2年
	52 高木 冠辰	2年
	55 佐藤 凜空	1年
	57 伊波 晴也	2年
	58 釜谷 太陽	2年
	63 狩野 義	2年
	70 鏡味 悠真	2年
	88 竹内 閃	2年

東海中央ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	松尾 賢二 竹脇 野治 阪野 友宏 鈴村 友宏	勝二 治宏
背番号	氏名	学年
主将	井戸 一斗	2年
0	立松 佳	2年
1	加藤 龍之介	2年
2	寺本 陽向	2年
5	染輝 暁	2年
6	福田 昂樹	2年
8	近藤 慶次朗	2年
10	岡部 純陽	2年
14	井手尾 哲兵	2年
15	船橋 幸多	2年
16	鈴村 湊	2年
17	蘭田 和也	2年
18	松村 太誠	2年
20	浅井 太介	2年
21	川崎 迅翔	2年
22	塚本 翔仁	2年
24	河野 杜空	2年
25	石野 濤遥	2年
41	小樋 大	2年
43	南原 隆之介	2年
47	三岡 亮太郎	2年
51	上杉 祐太郎	2年
55	荒川 拓海	2年
56	村上 颯斗	2年
77	平野 亜稀	2年

名古屋ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	田中 秀明 水谷 孝 中村 大 杉野 保	明孝 助憲
背番号	氏名	学年
主将	0 杉野 琥太郎	2年
1	平山 大勢	2年
3	富田 大将	1年
5	青山 侑生	2年
8	廣瀬 煌大	2年
9	加藤 聖士	2年
10	加藤 勝喜	2年
11	茅野 蒼汰	1年
12	大西 望翔	1年
15	吉田 優翔	2年
17	福中 葉月	2年
19	伊藤 承太郎	1年
20	留場 琉生	1年
21	青沼 晃大	2年
25	三谷 悠真	2年
26	工藤 夢生	1年
27	後藤 浩介	1年
31	竹内 偉誠	1年
33	伊藤 誠太	1年
41	伊辻 匡仁	1年
52	國井 彬義	1年
55	伊藤 晃	1年
56	二村 輝太郎	2年
88	渡邊 優太郎	2年
99	飯田 琉聖	2年

愛知知多ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	濱野 晃一 尾形 嘉崇 堺和 弘 小田 竜司	一崇 弘司
背番号	氏名	学年
主将	3 都築 琉辰	2年
0	加藤 功大	2年
1	小田 修帆	2年
2	古屋 幸真	2年
4	吉田 真裕	2年
5	鈴木 木輝	2年
7	佐伯 大	2年
8	谷口 裕太郎	2年
10	宮本 祐	2年
11	石橋 理功	2年
17	吉良 天真	2年
18	西川 翔惺	2年
19	大村 健太	2年
23	大鈴 木翔也	2年
27	藤田 琉輝	2年
30	下田 健太	2年
31	三浦 颯太	2年
39	山口 哲平	2年
44	間瀬 寛都	2年
51	戸谷 駿利	2年
56	重松 寿翔	2年
99	塚本 絆斗	2年

東名古屋ボーイズ

代表監督 コーチ マネージャー	千田 知弘 鎌田 誠 竹内 将平	弘誠 平
背番号	氏名	学年
主将	0 竹内 雄惺	2年
1	櫻井 祐人	1年
2	櫻井 太智	1年
3	小林 暖舞	1年
5	立田 熙直	1年
6	鈴木 崇史	1年
7	松永 透和	2年
8	丸山 陽平	1年
9	久野 直翔	1年
16	三浦 琥珀	1年
17	栗浦 翔空	1年
18	櫻井 航介	1年
19	磯村 怜惺	1年
20	西田 勝	1年
21	松尾 碧馬	1年
22	小山 陽平	1年
23	永田 優	1年
25	神藤 将瑛	1年
29	大島 真悟	1年
31	菅谷 匠	1年
55	中西 望遥	2年
58	中大 洸弥	1年
77	大池 端叶	1年

なりたい自分へ、
はじめての**一歩!**

新年度スクール生募集!



■アドバイザー
元中日ドラゴンズ川又米利



■アドバイザー
元中日ドラゴンズ友永翔太

体験会受付中。

プロの技術が学べる、個別指導の野球上達塾! ワンランク上の指導を一度体験ください。



夢を叶える、**野球上達塾!**

BSO 野球塾

検索

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ彦野利勝

■お問い合わせ・体験申込 はコチラまで

☎ 052-715-3555

☎ 電話受付 平日
10:00~17:00

BSO 野球上達塾事務局

〒465-0041 名古屋市名東区朝日が丘1番地1 勝野ビル3F

✉ info@bsobb.net

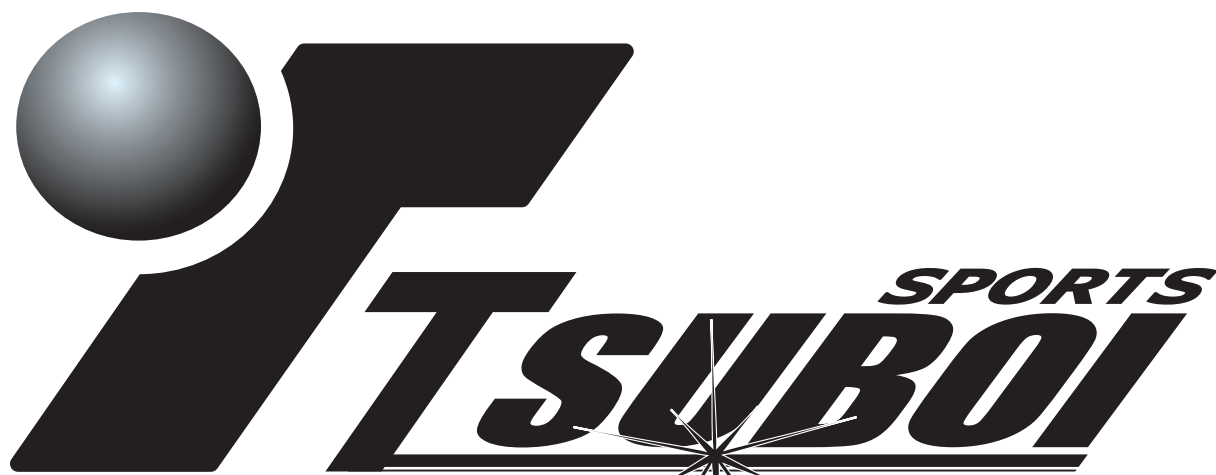
詳しくはweb サイトをご覧ください。

URL bsobb.net/school/





一生懸命がんばる君を
バックアップ!!



ツボイスポーツ

営業時間

平日 11:00 ~ 20:00

土日祝 10:00 ~ 20:00

定休日

毎週水曜日

(祝日の場合は営業します)

名古屋市中川区澄池町 20-11

TEL 052-365-3633

